



学校運営協議会

今年度からスタートしたコミュニティ・スクール、第3回学校運営協議会が2月27日(月曜)日に、本校を会場に開催されました。

まず、授業の様子を見学し、その後、第1回、第2回の学校運営協議会の内容を受けて、来年度の活動内容や部活動の地域移行について意見交換がおこなわれました。

3校が一緒に活動するものとして、あいさつ運動、ボランティア活動、防災活動が提案され、現在行われている活動をいかして参加者を増やすなど、具体的な実施について様々な意見が出されました。

防災活動では放課後の避難場所を小学生と中学生と一緒に確認する、備蓄倉庫の物品入れかえに合わせて試食会を行うなど、より具体的な活動が意識されました。

様々な立場の方が集まるからこそ、多角的な視点で考えられる学校運営協議会の良さを実感しました。

令和5年度からの3年間で部活動を学校部活から地域クラブへ、地域移行するという文部科学省の方針も説明されました。指導者の確保や安全な活動場所、活動場所までの移動手段、金銭的な支援など課題も多く、地域によって環境も異なることから、課題解決には時間がかかるでしょう。しかし、今までにないスポーツや文化活動に参加できる可能性もあり、メリットもあすといえそうです。

感謝をこめて

山口小学校にはたくさんの応援団がいます。登下校時の見守りや、本の読み聞かせ活動、放課後のふれあい教室の講師、学習活動、行事のサポートなどボランティア活動にはたくさんの方にご参加頂いています。



令和元年度までは、お世話になった地域の方を、6年生による感謝のつどいにお招きしていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、人が集まる行事は見合わせる事になり、感謝のつどいを開催できないまま3年目となりました。

それでも感謝の気持ちを届けたいと考えた6年生は、令和2年度からは感謝状や小物を手作りして、お世話になった皆さんにお届けしています。



今年もボランティア活動にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

学習サポート

5年生の家庭科「ミシン」の学習が、保護者や地域のボランティアのご協力をいただいて行われました。2学期にも「手縫い」の実習で学習サポートしていただき、3学期も安全にミシンを使えるよう、丁寧に教えていただきました。



参加したボランティアの方からは、パソコンや拡大機器を使用して、実際の工程をわかりやすく説明する先生方の授業に、感心の声が上がっていました。



ミシンの基礎を学んだ子どもたちは、お互いに教えあいながら、エプロンを縫いました。

色や柄もさまざまなものから自分で選び、自分で縫ったエプロンは、世界に一枚だけのオリジナルです。大切に、長く使ってほしいですね。ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

【問い合わせ先】

山口小学校地域学校協働本部

電話 62-272